























業種別景況予測

平成24年10月～12月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	7～9月 (実績)	10～12月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			「尖閣諸島、竹島問題で大きな障害が出ると思われたが、今のところ影響は少ない」「夏物寝具類の売行き不振のためか、冬物商品である毛布に対する関心が薄く、出荷・受注状況は低調」「仕事量と従業員数のバランスを考えなくては」とのコメントあり。			
繊維 ファッション			「低調。デフレ・円高対策が一向に前進せず、先行き不透明すぎて皆が守りに入っていると思う」「中国向けがどうなるか」「天候の関係もあり市況が悪化。消費低迷か」「材料仕入れや加工等、泉大津で生産を完了するにすれば泉大津は発展すると思う」との声あり。			
工業			「自動車業界は世界的に見ても景気減速という状態」「円高により輸出契約が厳しい」「地場産業の冷え込みで様々な職種に影響が出ており、どんどん厳しくなる」「今後は、中国問題等による一般機械設備投資の減少に左右される」とのコメントあり。			
建設			「改修工事が増えている」「設備工事業は官民とも仕事なし」「今後2～3年は景気上昇は難しい。販路拡張や新製品の開発に注力していきます」「日本建築が少なくなり、時代の流れには乗れない」とのコメントあり。			
運輸倉庫			「貨物の減少・運賃水準の下落・燃料の高騰が続く中、中国・韓国等の問題で経営環境が厳しく困難が増している」「現段階ではスペース不足で自社外での保管を考えるも物件の確保が難しい」「交通の便を活かし、ネット物流業界を組織的に呼び込むシステムを検討してみてもは？インターネット販売業界は今のところ上昇中だと思う」との声あり。			
金融理財			士業からは「業界が2極化している。中間層的な部分が少なくなってきた。1つ1つの依頼に、どう対処するかが勝負」「各保険会社共、地震・ゲリラ豪雨・落雷・タイの洪水等天変地異により損失拡大。交通事故によるグループ各社共、400～600億円の赤字等が代理店手数料等にも響いている」とのコメントあり。			
一般商業			「人出が週末に集中し、平日は極端に人出が落ちる」「お金を使うタイミングのメリハリが極端になってきている」「天候の安定しない日が多く、来客数に伸び悩みがあった」「天候が不順で、特に残暑が厳しいため秋物の動きが悪く、売上がなかなか確保できない」とのコメントあり。			
サービス業			「未だ景気の上昇が見えず、消費者ニーズも見えにくい」「最低賃金が年々高くなっていくので人を雇うのが困難に」「泉大津市は他の市町村と比較し、そんなに大きな市とは言えないが、介護業界に新規参入が増え、競争過多。地域に根付いて精一杯頑張っている私たちに救いの手はないのでしょうか？」「先行は少しずつ悪化傾向…」とのコメントあり。			

(調査概要) ●調査実施 平成24年10月 ●調査対象企業 253社 ●回答数 116社

寝装リビング 16社 工業 18社 運輸倉庫 18社 一般商業 10社
繊維ファッション 14社 建設 16社 金融理財 13社 サービス商業 11社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 経営支援部 TEL 0725-23-1111

